

留 学 報 告 書

記入日: 2017年1月11日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部 心理社会学科 現代社会専攻
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 南ユタ大学 現地言語: Southern Utah University
留学期間	2016年8月～2016年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社会学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年1月11日
明治大学卒業予定年	2018年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8～12月 2学期:1月～5月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1897

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学生のため
宿舍費	1500	180000円	
食費	1500	180000円	ミールプラン
図書費	0	0円	
学用品費	200	20000円	教科書など
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	290	34000円	形態:海外旅行保険
渡航旅費	2000	240000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	5490	658800円	

渡航関連

渡航経路: 広島→ロサンゼルス→ラスベガス	
渡航費用	
チケットの種類	_____
往路	120000円
復路	130000円
合計	250000円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
expedia	

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 3)

3) 住居を探した方法:

大学の斡旋

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

初めてのシェアルームだったけれど、いい経験になった

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

些細な問題は友達に相談した。相談口は大学にある

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特になし

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

wi-fi 環境はよかった。携帯も現地で契約した

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ほとんど全てクレジットカードで支払うため現金は使わない

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

調味料

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

あらゆることを広い視野で考えてください

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Academic Writing	ライティング
科目設置学部・研究科	
履修期間	8~12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	一般的な講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Chelsea Campbell
授業内容	MLA 書式をはじめ、アカデミックな文章を書く訓練をする
試験・課題など	期末試験の代わりに A4 で7ページ以上のレポートを提出
感想を自由記入	ライティングが苦手な僕にはつらい授業でした。しかし先生が熱心に教えてくれたので、ライティングのスキルは飛躍的に伸びました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Accelerated French	フランス語中級
科目設置学部・研究科	
履修期間	8 月~12 月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	会話を中心(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回
担当教授	Rosa A. Perez
授業内容	文法と会話を中心に授業は進む
試験・課題など	何回にも分けて 100 点満点のペーパーテストと、期末には面接の試験が行われた
感想を自由記入	会話を中心の授業で発音を特に注意された。文法自体は日本で習っていたので難しくはなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Problems	現代社会問題
科目設置学部・研究科	
履修期間	8 月~12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	一般的な講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Shobha Hamal Gurung
授業内容	教科書に沿いながらたまにビデオを見つつ社会問題について学ぶ
試験・課題など	5 回のペーパーテストと何回かのレポート
感想を自由記入	現代の社会問題についてわかりやすく学べたが先生がネパール人で英語を聞き取るのが難しかった

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sociology of Pop Culture	サブカルチャー

科目設置学部・研究科	
履修期間	8月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	グループディスカッションが中心(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Shobha Hamal Gurung
授業内容	映画や音楽を聴きながらアメリカだけではなく世界中のサブカルチャーから社会問題を考える
試験・課題など	レポートが数回とプレゼンで評価
感想を自由記入	世界中のサブカルチャーについて学べて楽しかったが、レポートの祭典が厳しかった

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	英語力を落とさないようにする
4月～7月	留学について情報を調べ、準備をする
8月～9月	オリエンテーションの後、授業が始まる
10月～12月	サンクスギビングなどのまとまった休暇に旅行をしたりする。後半は期末試験に向けてひたすら勉強する。
2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	大学に入学した当初からあった、海外で学問を学びながら英語を上達させたいという気持ちが留学を決定する一番の決め手となりました。また入学当初の新鮮さがなくなりダラダラと過ごしてきた大学生活に区切りをつけ、全く違う新しい世界に飛び込んで自分の力を試してみたいという気持ちもありました。そして明治大学はとて留学に力を入れていて、単位の振り替えだけではなく、少くない金額の補助を受けることができたのも決断の後押しとなりました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	当たり前ですが現地の言葉を限界まで上達させてから、留学に臨むことをお勧めします。僕の場合はリスニングが苦手で苦労しました。人それぞれ不得意な分野はあると思いますが、ネイティブの人と直接会話や、映画を見たりするなどペーパーテスト対策とは違う訓練が必要だと思います。また留学先の文化や習慣について情報を得ることも大切です。ネットや本で調べて知っておくことで、極端に戸惑うことがなくなり、楽に文化になじむことができると思います。
この留学先を選んだ理由	アメリカが英語圏であることと、僕が学びたかった社会学が大きく発展していった場所であることの二つが決め手となりました。そしてユタ州を選んだ理由は、グランドキャニオンなどの国立公園がたくさんあり、また日本人が少なく英語力を伸ばせるところも魅力的でした。そして私は宗教にも関心があり、モルモン教という日本人にはあまりなじみのない宗教の聖地であるユタ州にとっても興味をひかれました。
大学・学生の雰囲気	アメリカでは、「大学は勉強をするところ」という思いが強く、生徒も教師もとても熱心に学問に取り組んでいます。しかし一方で課題やテストも多く自由に学問を学ぶのには適していないかもしれません。南ユタ大学の周りは公共交通機関も娯楽施設もほとんどなく、かなりの田舎でしたが、住んでいる人はとても優しく犯罪もほとんどない平和な町でした。またアメリカでは珍しくほとんどの住民が白人で、自分がマイノリティーであることをいやでも自覚するようになります。
寮の雰囲気	寮は多くの一年生が住んでいて、キッチンやコミュニティルームも充実していました。またルームメイトとも気が合いとても楽しく過ごせました。セメスターごとに部屋を変えることができることや、カウンセリングが定期的にあるなどサポートシステムもしっかりしていました。一方でアメリカらしく男女混合の寮でラウンドリーが共用で、ルームメイトの彼女や彼氏が急に部屋に入ってくるなどもよく起こるので、人によっては合わないかもしれません。
交友関係	外国人の友達を作ることは簡単ではありません。挨拶をかわすぐらいの友達はたくさんできるでしょうが、それ以上の関係を築くことができる人は一握りです。僕は幸いにも一人だけ親友とも呼べるアメリカ人の友達ができましたが、ほとんどの留学生は同じ国から来た生徒と過ごしています。英語の上達にはネイティブの友達は必要不可欠ですし、日本人といえることは英語の上達の妨げに他なりません。しかし気の合う友達を見つけるのは難しいことで、海外ではなおさらです。だから友達ができなくても悩む必要はないし、無理せず日本人ともコミュニケーションをとっていくのがいいと思います。
困ったこと、大変だったこと	基本的に留学は大変なことばかりですが、やはり言葉が最大の壁でした。スピーキングとリスニングどちらかができないとコミュニケーションは取れないため、最初はマクドナルドで注文もできませんでした。授業も課題もプレゼンもすべて語学力がないとうまくこなすことができません。最初の頃は毎日が挫折の連続で「自分は本当に成長しているのだろうか？」と悩むこともありました。しかし友達に相談し、愚痴を聞いてもらうことでだいぶ楽になりました。
学習内容・勉強について	はっきり言って授業のレベルも生徒の知識量も明治大学と比べると低かったです。しかしプレゼンテーションやグループワークなど生徒の行動力や表現力が試される場面はとても多かったです。能力はあってもそれをアピールできなければ評価にはつながりません。ただ座って話を聞いていればいい日本の授業とは大きく違うところです。オフィスアワーやライティングセンターなど生徒の学習を助けるシステムはたくさんあるので有効活用するのが大切です。
課題・試験について	課題は膨大でしたが、コツをつかんで慣れてくると大したことはありません。筆記試験も英語が問題だけで、その問題自体は難しくありませんでした。しかしレポートだけは話が違います。日本では論文の書き方など習う機会はほとんどないのですが、アメリカには一定の論文の「型」があってまた論理性がすごく重要です。例え文法ミスが一切なくとも評価されないことは多々ありました。これはライティングセンターに通い詰めて添削してもらうしかありません。

大学外の活動について	学期中は自然公園に行くなどをしていました。そして冬休みが終わると、メキシコ→コスタリカ→エクアドル→ペルー→ボリビアと一か月バックパッカーをしました。そこで見たものや感じたことはかなり大きくてここには書ききれません。しかし例えばイギリスに留学しているならヨーロッパを旅してみるなど、長期休みにいろいろな国に旅することを強くお勧めします。恐らく人生一度のチャンスなので、お金のことを気にせずにチャレンジしてみてください。
留学を志す人へ	「留学はつらいことだらけ」ということを知っておいてください。みんなが思い描くキラキラした留学は留学生活の一部でしかありません。英語だって自分が思い描くほど簡単にできるようにならないし、友達もたくさんできないし、自慢できるような体験に遭遇することは稀です。挫折して恥ずかしい思いをして、それでも少しずつ成長して、日本に帰ってきて初めて自分の成長に気づかされます。だからたくさん苦勞を留学中に積み重ねて苦しんでください。いずれそれがあなたの糧となります。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業			
	授業		授業		授業	課題	課題
午後	授業	授業	授業	授業	授業	自由	自由
						自由	自由
夕刻	課題	課題	課題	課題	課題	課題	課題
夜	飯 課題	飯 課題	飯 課題	飯 課題	飯 課題	飯 課題	飯 課題